

令和8年度

施

設

概

要

体験の風を
おこそう



施設マスコット：ササビー



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家



ワクワクドキドキ

国立青少年

世界有数の透明度を誇る
波島敷島

14 国立沖縄青少年交流の家
沖縄県源郷村

溢れるグリーンシャワー 三瓶山

10 国立三瓶青少年交流の家
島根県大田市

県下最大級の天体望遠鏡

24 国立山口徳地青少年自然の家
山口県山口市

満天の星を観察 スタードーム

26 国立夜須高原青少年自然の家
福岡県筑前町

千年の大草原 阿蘇

15 国立阿蘇青少年交流の家
熊本県阿蘇市

360°大パノラマ 五家原岳

27 国立諫早青少年自然の家
長崎県諫早市

びびり立つ
室内クライミングウォール

28 国立大隅青少年自然の家
鹿児島県鹿屋市

愛媛県一の大河川 飯川

12 国立大洲青少年交流の家
愛媛県大洲市

ミニクルージング船 くらしお

25 国立室戸青少年自然の家
高知県室戸市

目の前に広がる岩狭湾

21 国立若狭湾青少年自然の家
福井県小浜市

湖畔で楽しむ
キャンプファイヤー

23 国立吉備青少年自然の家
岡山県吉備中央町

多島美の瀬戸内海

11 国立江田島青少年交流の家
広島県江田島市

標高1,510mでの
高地トレーニング

07 国立兼松青少年交流の家
岐阜県高山市

スキスキの場所 首領高原

22 国立曾根青少年自然の家
奈良県曾根村

日本三大潮流

徳門の渦潮

09 国立淡路青少年交流の家
兵庫県南あわじ市

世界農業遺産

06 国立能登

家に行こう!

山梨県 能登の里山里海
登山青少年交流の家
石川県羽咋市



◀ 良質な天然雪120% ▶
19 国立妙高青少年自然の家
新潟県妙高市



◀ 北アルプス立山三山 ▶
20 国立立山青少年自然の家
富山県立山町

◀ 伝統的な家屋 曲がり家 ▶
03 国立岩手山青少年交流の家
岩手県滝沢市



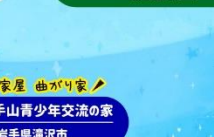
◀ 十勝岳ジオパーク ▶
02 国立大雪青少年交流の家
北海道美瑛町



◀ 水質調査日本一 砂流川 ▶
15 国立日高青少年自然の家
北海道日高町



◀ 透明度抜群! みちのくの清流 碓氷川 ▶
16 国立花山青少年自然の家
宮城県栗原市



◀ 万葉集に詠まれた磐梯山 ▶
04 国立磐梯青少年交流の家
福島県猪苗代町



◀ 雨の日でも安心! 室内キャンプファイヤー ▶
17 国立那須甲子青少年自然の家
福島県西郷村



◀ 上も三山の赤城山 ▶
05 国立赤城青少年交流の家
群馬県前橋市



◀ 国内最大級の青少年教育施設 ▶
01 国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区



◀ 世界遺産 富士山の麓 ▶
08 国立中央青少年交流の家
静岡県御殿場市

◀ 木のぬくもり感じるログハウス ▶
18 国立信州高遠青少年自然の家
長野県伊那市



国立オリンピック記念青少年総合センター: 1か所

国立青少年交流の家: 13か所

国立青少年自然の家: 14か所

国立赤城青少年交流の家は、団体宿泊訓練を通じて健全な青年の育成を図ることを目的として文部省(現文部科学省)により、全国7番目の国立青年の家として昭和45年4月に設置(昭和46年4月開所)され、平成13年4月に独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に、平成18年4月には、現在の独立行政法人国立青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家となりました。そして、令和3年4月には開所50周年を迎えることができました。

上毛三山(赤城山・榛名山・妙義山)の一つ赤城山南麓の標高530メートルに位置する国立赤城青少年交流の家は、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。

目 次

所旗・所章/マスコット/運営体制	2
沿革	3
施設配置図	5
研修施設の概要	7
令和7年度利用状況	8
利用案内	9
令和8年度教育事業実施予定一覧	11



所 旗・所 章

△ は、赤城山と青年の「家」をかたどり、同時に青年の向上心を表しています。

○ は、首都圏を意味するとともに、青年たちの友情にみちた連帯と和を示しています。

A は A k a g i の A を表しています。



所旗は、この所章をあしらったもので、地色の浅緑は澄みわたった大空と関東の緑野、そして青年の「若さ」を意味しています。

マークの朱色は赤城山に咲くれんげつつじの色と青年の家のともしびを模し、青年の情熱と心のあたたかさを象徴したものです。

所旗・所章ともに、国立赤城青年の家として設置された昭和 46 年に制定されたものです。

マスコット

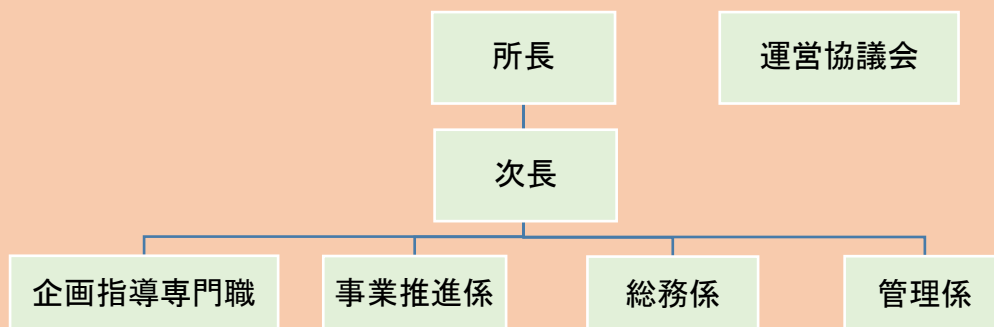
当施設のマスコットはムササビをモチーフにした「ササビー」です。平成 30 年度に公募を行い、76 件の応募の中から、当施設職員と富士見地区の小中学生による投票の結果、箕輪茜さん（当時、太田情報商科専門学校）の作品が選ばれました。



運営体制（令和8年4月1日現在）

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家



沿 革

国立オリンピック 記念青少年総合センター

昭和 40 年

東京オリンピック選手村跡地の一部を利用し、文部省所管の特殊法人オリンピック記念青少年総合センターとして発足

昭和 55 年

文部省所管国立オリンピック記念青少年総合センターとなる

平成 13 年

文部科学省所管独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センターとなる

国立青年の家

昭和 34 年

皇太子殿下ご成婚を記念し国立中央青年の家設置
以降、昭和 51 年までに全国 13 か所に国立青年の家設置

平成 13 年

文部科学省所管独立行政法人国立青年の家となる

国立少年自然の家

昭和 50 年

「学制百年記念事業」の一環として、国立室戸少年自然の家設置
以降、平成 3 年までに全国 14 か所に国立少年自然の家設置

平成 13 年

文部科学省所管独立行政法人国立少年自然の家となる



平成 18 年 4 月、青少年教育 3 法人が統合して発足
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立青年の家

青少年教育関係者等の学習指導を促進するための都市型青少年教育施設

国立青少年交流の家

ボランティア活動や就労体験といった交流体験を中心とした教育プログラムの企画・実施を行う青少年教育施設

国立青少年自然の家

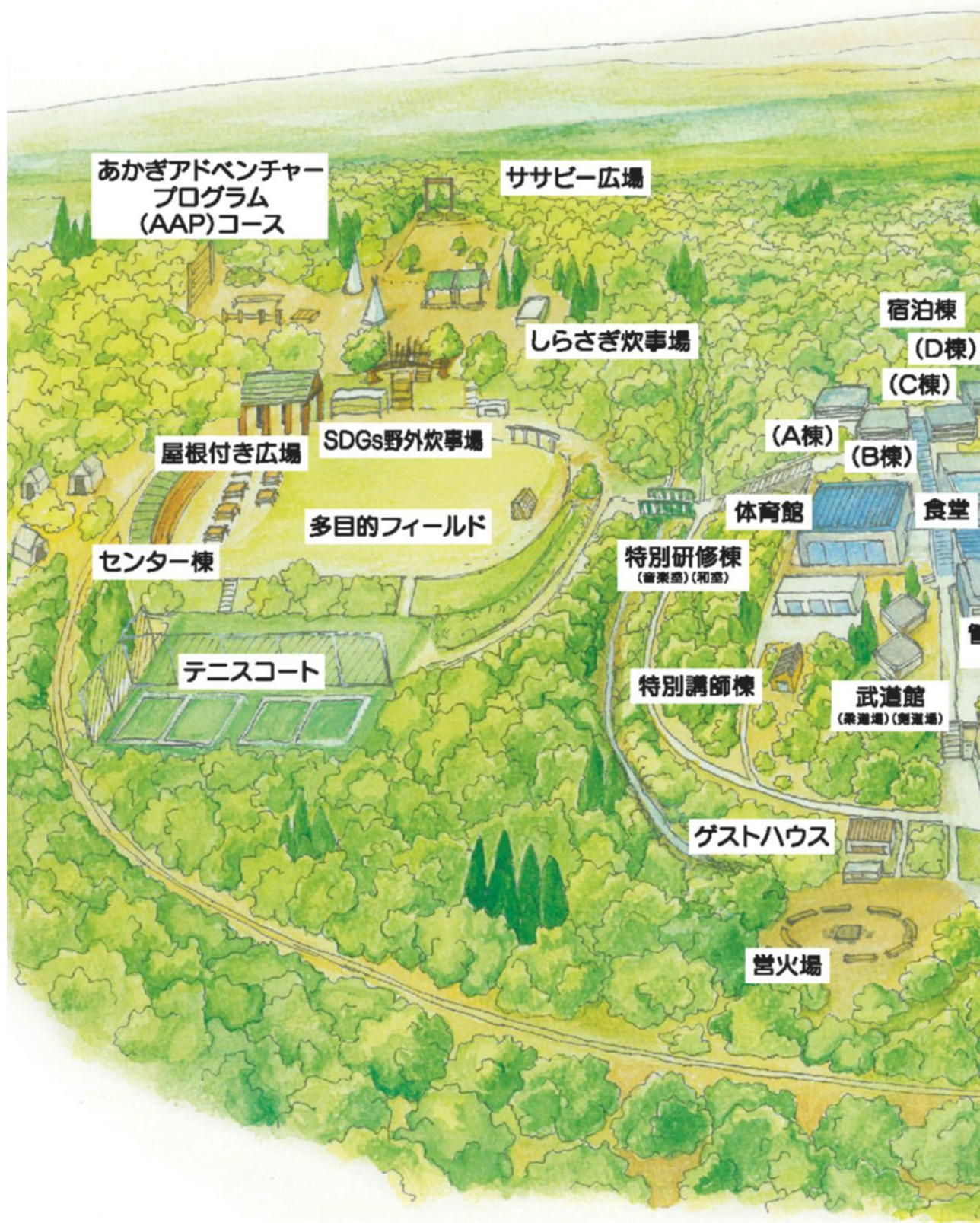
野外活動や環境学習といった自然体験を中心とした教育プログラムの企画・実施を行う青少年教育施設

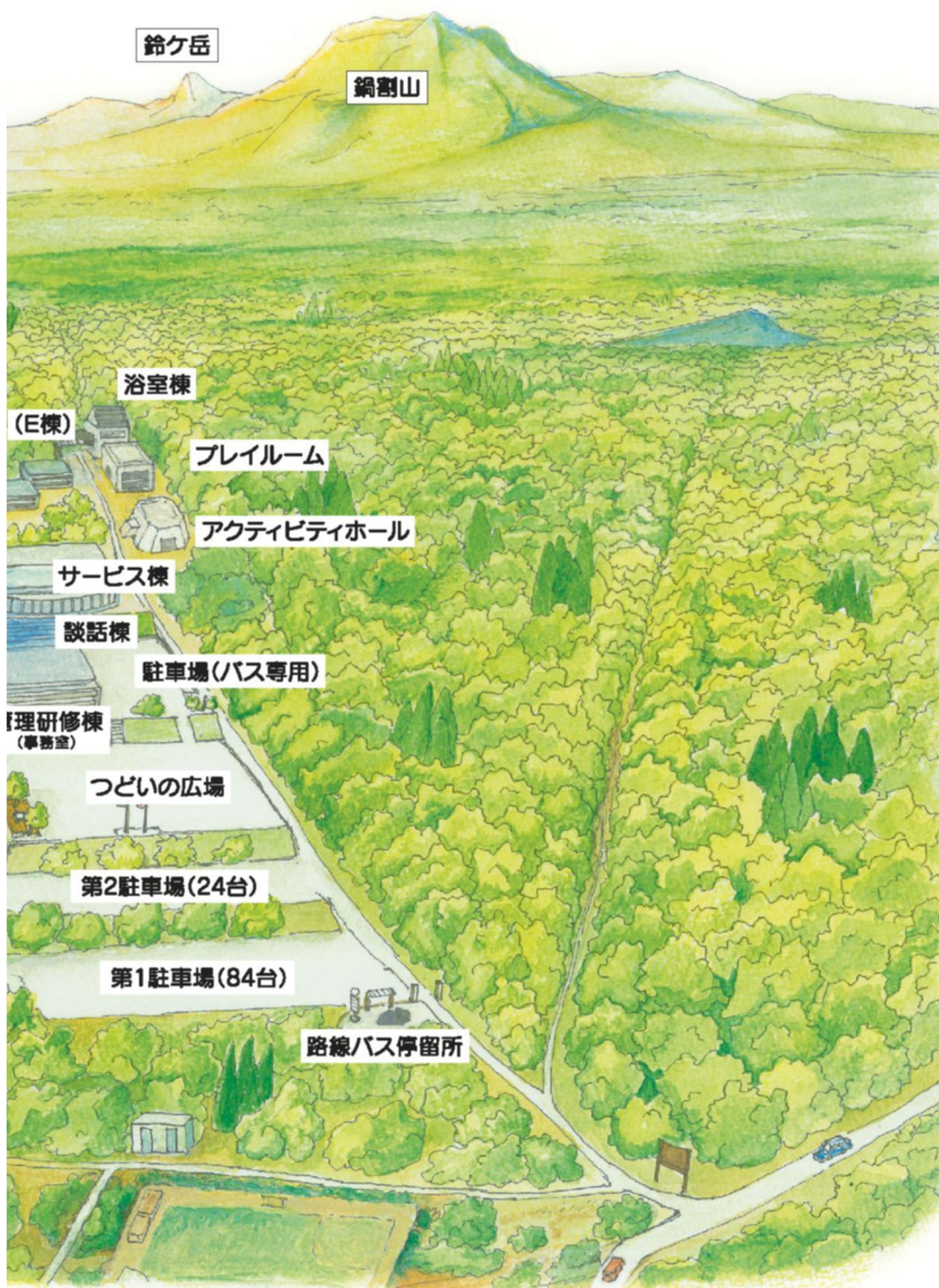
- 昭和 45 年 文部省令第 11 号の施行により、群馬県勢多郡富士見村に国立赤城青年の家を設置(4/17)
- 46 年 所旗・所章を制定(2/26)、所歌を制定(3/4)、管理棟・サービス棟・宿泊棟竣工、受入れ開始(3/20)、開所式を挙行(4/28)、自然遊歩道完成(8/3)、体育館竣工(12/25)
- 47 年 グラウンド・テニスコート・屋外バレーボールコート竣工(1/30)、武道館竣工(12/15)
- 50 年 特別研修棟竣工(4/13)
- 52 年 野外訓練コース(フィールドアスレチック)竣工(1/28)、大型バス等車庫竣工/自然植物園第 1 次計画造成(12/5)
- 54 年 交流棟竣工(5/31)
- 56 年 講師・ボランティア棟竣工(2/20)、開所 10 周年記念式典挙行(4/19)
- 57 年 開所以来延べ宿泊者 100 万人を突破(5/30)
- 60 年 浴室増設(中浴室竣工)(12/16)
- 平成 3 年 開所 20 周年記念式典挙行(10/29)
- 6 年 生活棟竣工(3/30)、開所以来延べ宿泊者 200 万人を突破(7/9)
- 7 年 管理棟・宿泊棟・サービス棟他外壁塗装工事、ボイラー1 基更新・湯槽 1 基新設(2/28)
- 8 年 受変電設備更新、給排水設備更新(3/29)、改修工事のため受入休止(H8.11~H9.3)
- 9 年 管理研修棟・談話室・厨房改修工事竣工(3/31)
- 11 年 第 2 キャンプ管理棟竣工(12/17)
- 13 年 独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に移行(4/1)、開所 30 周年記念式典挙行(12/1)
- 14 年 キャンプ場センター棟、屋根付広場竣工(8/1)
- 15 年 浴室棟竣工(3/25)
- 18 年 独立行政法人青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家に移行(4/1)
- 21 年 開所以来延べ宿泊者 300 万人を突破(4/14)
- 22 年 宿泊棟他耐震改修工事完成(3/25)
- 23 年 浴室棟暖房設備他改修工事完成(3/15)
- 27 年 体育館照明落下防止対策工事完成(1/26)
- 27 年 宿泊棟手摺等改修工事完成(2/27)
- 29 年 開所以来延べ宿泊者 400 万人を突破(4/19)
- 30 年 PA、キャンプ場、センター棟、屋根付広場、多目的フィールド及びテニスコートからなる一連の施設を「あかぎアドベンチャーエリア(AAA)」と命名(2/9)、マスコットキャラクター「ササビー」公募にてリニューアル(10/1)
- 31 年 幼児向けの自然を活用した運動遊び場「ササビー広場」完成(3/29)
- 令和 元年 ササビー広場オープニングセレモニー(8/27)
- 2 年 国立大学法人群馬大学との連携・協力に関する協定(3/10)
国立赤城青少年交流の家【公式】YouTubeチャンネルの開設(4/1)
- 3 年 前橋市との地域防災計画に関する協定締結(1/22)、開所 50 周年記念式典(4/24)
国立青少年教育振興機構広域防災補完拠点整備事業に伴う工事
- 4 年 「国立青少年教育施設における教育機能向上を目的とした設備等の充実」計画における「SDGsを意識できる野外炊事場」工事
- 5 年 「SDGsを意識できる野外炊事場」オープニングセレモニー
- 8 年 案内表示板グローバル化(3/26)、体育館床張り替え工事(3/31)



施設配置図

敷地面積 (244, 246. 61 m²) 標高 (530m)





研修施設の概要

名称		収容人数	名称		収容人数
管理研修棟 1階	講堂	200 人	武道館	剣道室	50 人
	講師ロビー	10 人程度		柔道場	50 人
	保健室	1 人	棟 1階 サービス	なごみの間	24 人
	静養室	3 人			
	荷物置き場	約 200 人分	棟 2階 サービス	食堂ホール	247 席
管理研修棟 2階	第 1 研修室	81 人		宿泊棟	売店・ラウンジ
	第 2 研修室		A 棟（洋室）		最大 86 人
	第 3 研修室	36 人	B 棟（洋室）		最大 86 人
	第 4 研修室 第 5 研修室 第 6 研修室	42 人	C 棟（和室）		最大 106 人
			D 棟（和室）		最大 106 人
			E 棟（和室・洋室）		最大 94 人
	第 7 研修室 第 8 研修室	36 人	ゲストルーム 1～4		各 1 人
			ゲストハウス		最大 13 人
研修棟 特別	音楽室	120 人		特別講師棟	最大 8 人
	和室	50 人			
ルーム プレイ	2 階プレイルーム	50 人	営火場		100 人
			しらさぎ炊事場		64 人
アクティビティホール		100 人	屋根付き広場		200 人
体育館		31m×29m	SDGs 野外炊事場		36 人
浴室棟		100 人	ササビー広場		－



体育館



講堂



研修室



音楽室



浴室棟



センター棟&屋根付き広場



食堂



柔道場



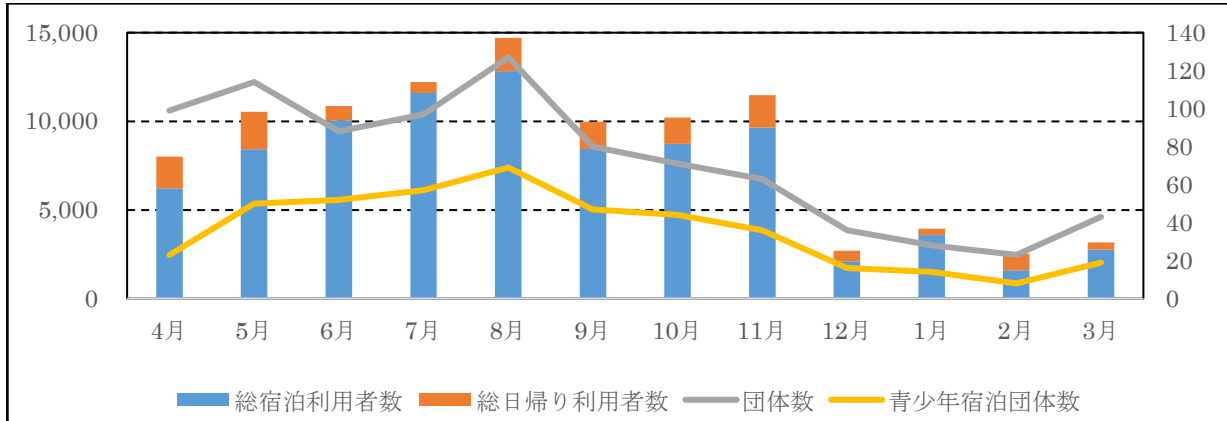
剣道場

令和7年度 利用状況

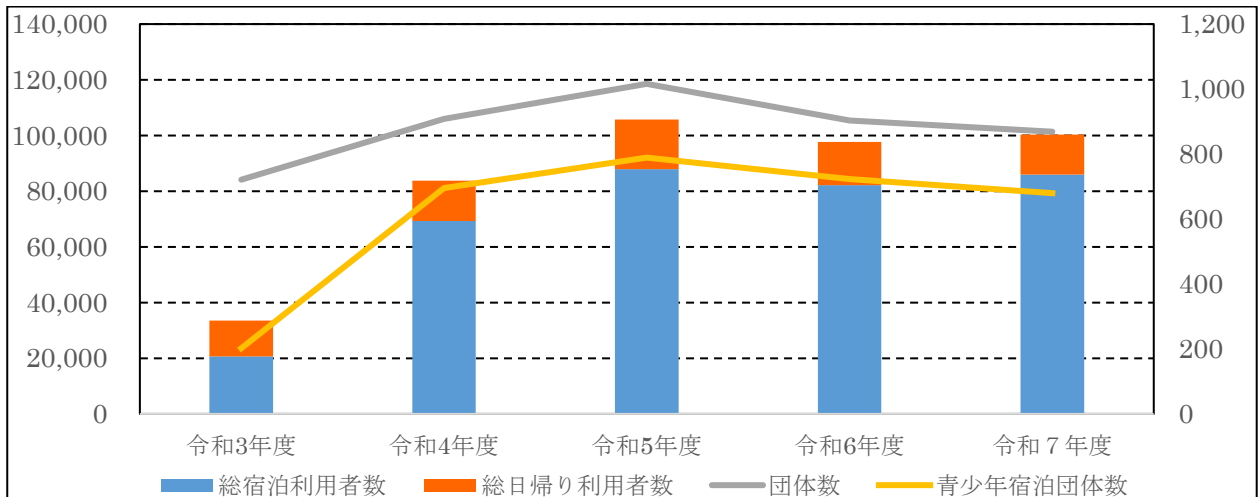
1. 総利用者数 100,306 人（宿泊総利用者数 85,970 人、日帰り総利用者数 14,336 人）

2. 団体数 869 団体（宿泊青少年団体数 435 団体）

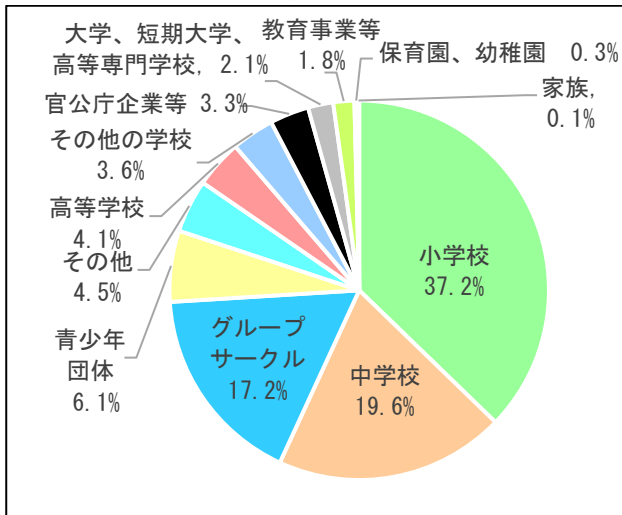
3. 令和7年度月別利用者数と団体数



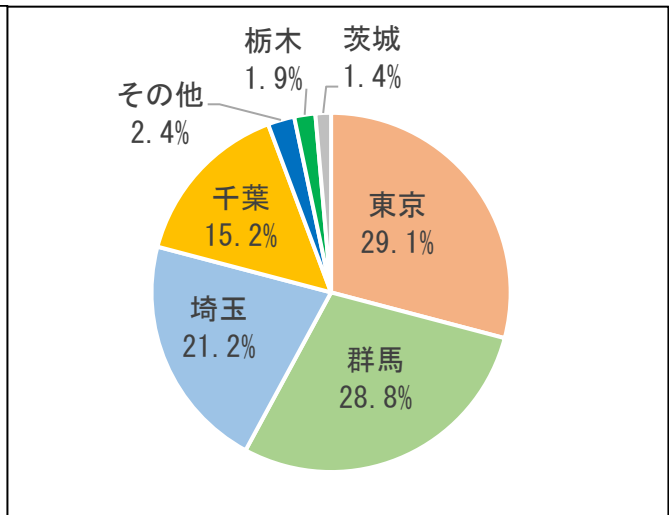
4. 過去5年間の利用者数と団体数



5. 団体別総利用者数の割合



6. 都道府県別総利用者数の割合



ご 利 用 案 内

1. ご利用いただける団体

成人の引率者がいて、あらかじめ具体的な研修計画を持った2名以上の団体となります。
主に学校、教育関係の施設や団体、青少年を対象とした活動を行う団体、地域などの団体やサークル、官公庁、企業、ファミリーなどの団体にご利用いただいております。

2. お申込の流れ

- (1) WEB 予約：希望日の空き状況をHPでご確認のうえ、お申込願います。
- (2) 内定通知書受取：お申込の受付が済み次第、申込確認書を送付します。
- (3) 書類提出：以下の書類をご提出願います。
 - ① 利用日の2か月前まで：活動計画書（1・2）
 - ② 利用日の1か月前まで：食事申込書、食物アレルギー事前確認票、教材申込書
 - ③ 利用当日に持参：利用者名簿、利用団体票

※ 利用できない日

- (1) 12月29日～1月4日（12月28日は宿泊不可）
- (2) 上記のほか、施設が定める日（詳細はHP参照）

3. 標準生活時間

6:00	7:00	7:20	9:00	12:00	13:30	16:30	17:00	17:30	19:00	22:00	23:00
起床・洗面	朝のつどい	朝食・清掃	退所点検	午前の活動	昼食	午後の活動	代表者会議	夕べのつどい	夕食	夜の活動	片付け・就寝
									入浴		

※ご提出いただいた活動計画書をもとに、交流の家職員が活動・生活時間や活動場所の調整を行います。

4. 利用料金

(1) 宿泊にかかる料金

利用区分	料 金	備 考
幼児（年少以上）	300 円／泊（1 人）	※テント泊は 300 円/泊
子供（小学生～高校生）	600 円／泊（1 人）	※テント泊は 300 円/泊
大人（18 歳以上）	2,500 円／泊（1 人）	※学生は 1,200 円/泊 ※テント泊は 1,200 円/泊

(2) 日帰り利用にかかる料金

①屋外施設使用料

野外活動や、スポーツ活動等を実施される方が対象です。

※事前打合せ、施設見学、保護者の送り迎え等の場合は不要です。

利用区分	料金	備考
幼児（年少以上）	100 円／日（1 人）	※年少以下は無料 つどいの広場、オリエンテーリングコース、多目的フィールド、野外炊事場、ササビー広場、AAPコース等の屋外活動エリア
子供（小学生～高校生）	200 円／日（1 人）	
大人（18 歳以上）	400 円／日（1 人）	

②活動場所別施設使用料金

以下の活動場所を使用される団体が対象です。

活動場所区分	料金 （1 日あたり/団体）		対象施設 ※活動場所ごとに料金がかかります。
	青少年団体	一般団体	
大型研修施設	1,000 円	2,000 円	体育館、講堂、アクティビティホール ※体育館のみ半面利用時は半額
研修室	500 円	1,000 円	研修室 1、研修室 2、研修室 3、研修室 4、研修室 5、 研修室 6、研修室 7、研修室 8、音楽室、
その他	500 円	1,000 円	柔道場、剣道場、テニスコート 2 面、和室、なごみの間、プレイルーム

(3) 食事料金（食堂食・ビュッフェ形式）

年齢区分	朝 食	昼 食	夕 食
中学生以上	640 円	760 円	920 円
小学生	550 円	660 円	800 円
幼児（3 歳以上）	460 円	540 円	690 円

※弁当や野外炊事、活動備品、特定研修活動の指導は別途料金がかかります。

令和8年度 教育事業実施予定 一覧

1. 青少年対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨（ねらい）
1	あかぎ TEPPEN キャンプ	事前キャンプ 7/11(土)～7/12(日) 本キャンプ 8/9(日)～8/16(日)	小学校6年生～ 中学校2年生	14	①登山や野外炊事等、協働的で問題解決的な体験プログラムを通して、課題解決力と多様性を認め合える意識の醸成を図る。 ②他者とのかかわりを通じて、他者の感性や考え方に触れ、理解したり、他者から学んだりすることにより、参加者の成長を図る。

2. 多様な背景を持つ青少年を支援する事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨（ねらい）
1	秋空キャンプ	9/19(土)～9/20(日)	児童養護施設入 所児童等	30	多様な生活環境にある児童生徒に体験活動を提供する。
2	赤城フレンドシップステイ	10/31(土)～11/1(日)	ひとり親家庭の 親子	40	
3	動く子ども食堂プロジェクト	12/5(土)	子ども食堂利用 者	50	

3. 指導者養成事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨（ねらい）
1	ボランティア養成セミナー	5/30(土)～5/31(日)	高校生以上	32	ボランティア活動への興味や具体的なイメージをもち、ボランティア活動に参画したいという意識を育て、ボランティア活動を行う上で必要な知識・技能について習得する。
2	自然体験活動指導者 (NEALリーダー)養成事業	1/9(土)～1/11(月祝)	教育関係者、青 少年教育の指導 者を目指す者大 学生、一般	20	楽しく安全に自然体験活動を指導するために必要なスキルを身に付ける。

4. 親子対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨（ねらい）
1	親子キャンプクリスマス編	12/12(土)～12/13(日)	小学生とその保 護者	30	クリスマスに関する体験活動をとおり、家族や参加者同士で交流することの楽しさを感じる機会とする。

5. 「体験の風をおこそう」運動・「早寝早起き朝ごはん」国民運動普及啓発事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨（ねらい）
1	あかぎワク×2 冒険隊	10/24(土)～10/25(日)	幼児、小学生とその保護者	200	小学生・幼児等の親子を対象に、子供たちの成長に様々な体験活動が大切であること及び基本的な生活習慣の重要性について発信する機会とする。

<令和7年度の教育事業の様子>



あかぎ無限大キャンプファイナラー



ボランティア養成セミナー



自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業

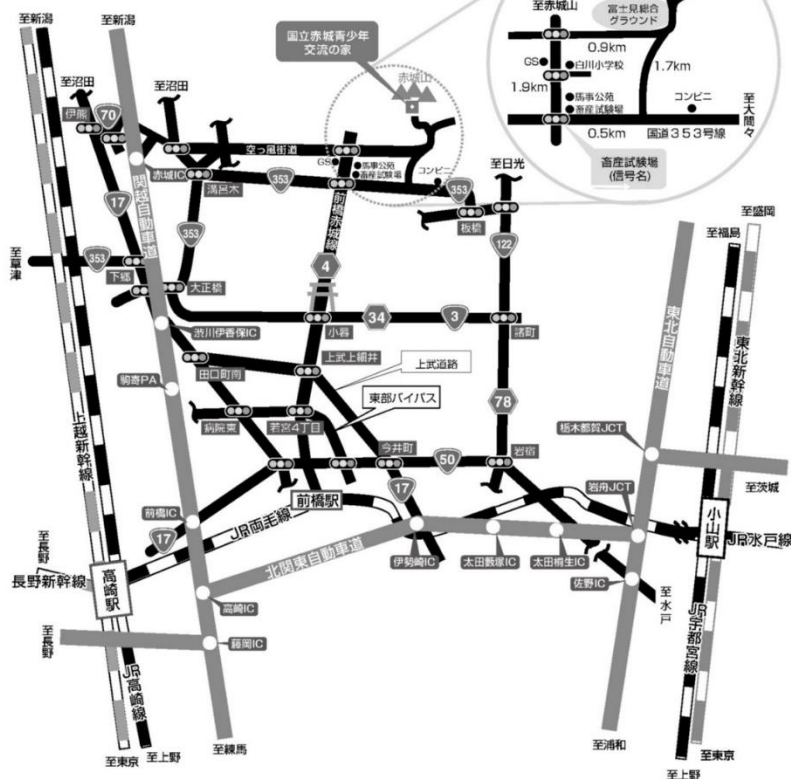


親子キャンプ～クリスマス編～



あかぎフェスタ

ACCESS



【自動車の場合】

- 関越自動車道「赤城 I. C」から約20分
- 関越自動車道「駒寄スマート I. C」から約30分
- 北関東自動車道「伊勢崎 I. C」から約45分



【電車の場合】

- JR両毛線「前橋駅」下車
 - 路線バス（関越交通）「国立赤城青少年交流の家」行き40分（片道900円）
 - または、前橋駅からタクシー利用
- 注：○路線バスは4/1から11/3（予定）のみ運行
 - 平日はデマンド運行、**要予約：027-210-5566（関越交通）**
 - 土・日・祝は1日1往復で予約は不要
- 上記以外の日程では、交流の家行きの路線バスの運行はありません
- 富士見地区内デマンドバス「るるんバス」の運行がございます
- 詳細は、前橋市公式ホームページをご覧ください



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

TEL: 027-289-7224 / FAX: 027-289-7226

URL: <https://akagi.niye.go.jp/>

E-mail: akagi-soumu@niye.go.jp



ホームページ



YouTube



Instagram